

■科目名			
障害児心理学入門演習 Introduction to Psychology for Children with Disabilities			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	専修専門科目	特別支援教育	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
1	1期		前
■担当教員			
雲井未敏			
■代表教員名及び連絡先等			
kumoi@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
水曜4限			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
障害児心理学への導入科目として、比較的平易な心理学的知見をトピックとして紹介する。学生自身による実験や模擬体験の実施を通して、理論的な背景や教育上の意義への接近を図る。それらにより、心理学が特別支援教育ないしインクルーシブ教育に対して果たす役割について理解することを目的とする。			
■授業の到達目標及びテーマ			
心理学の目的と方法論についての基礎的知識について説明できる。 実験、観察による資料収集とその基本的分析を行うことができる。 障害理解と支援に対する心理的アプローチの意義を考察できる。			
■授業計画			
全8回の授業を対面形式で実施する。対面授業の要件を満たすことが難しい場合は遠隔（Zoomによるリアルタイム配信）で行う。 以下の内容について順不同で扱うことを予定している。 (1)障害児心理学の目的と特徴 (2)感覚と知覚の性質 (3)行動と学習の機序 (4)視覚と聴覚の情報処理 (5)心身の発達とその障害 (6)知的障害者における心理と発達の特徴 (7)特別支援学校の役割と実際 (8)授業のまとめと確認試験			
■授業外学習（予習・復習）			
[予習]授業内容の理解に必要なかつ授業内では解説しない基礎的な事項を指示するので、授業前までに理解しておく。 [復習]授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。			
■受講要件			
特別支援教育コースの1年次生（必修）			
■成績の評価基準			
確認試験（50%）、授業内課題への取り組み状況（50%）			
■教科書・参考書			
教科書は特に指定せず、必要に応じて講義資料をmanabaで配信する。			
■教師としての資質能力に関するチェック項目			
5. 協働実践力 【B連携協働力、自己改善力の育成】集団の中で、役割に応じてリーダーシップを発揮したり、他者と連携・協力して活動したりできる 9. 学習者の心理・発達に関する理解 【C学習者理解】子どもの発達や心理など、子ども理解のための基礎的な知識を身に付けており、それらを生かして子どもの発達を分析することができる 11. 特別支援教育に関する理解 【C学習者理解】特別支援教育に関する基本的な知識を身に付けており、それを生かした具体的な指導・支援の在り方を構想することができる			

アクティブ・ラーニング

グループ・ディスカッション；
振り返り（ミニッツ・ペーパー等）；

アクティブ・ラーニング（その他）

実験・演習

アクティブ・ラーニング（授業回数）

8回中4回

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他